

おおじまだより

2015年1月号

社会医療法人社団 順江会 江東病院 医療連携室発行
〒136-0072 東京都江東区大島6丁目8番5号
電話：03-3685-2166 (代表), 医療連携室：03-3685-2253
http://www.koto-hospital.or.jp
E-mail: renkei@koto-hospital.or.jp

「おおじまだより」は、1、4、7、10月に定期発行いたします
バックナンバーは会計窓口にお問い合わせください



創立60周年を迎えて～当院がめざすもの～ 理事長 小出 輝



2015年を迎え、皆様おめでとうございます。今年の干支は羊です。羊は8千年以上前からの家畜といわれており、非常に長い歴史を持った動物です。江東病院も1955年創立以来60年の歴史を持った江東区では最も古い病院のひとつですが、この長い期間、地域の皆様のご協力をいただき、ここまでまいりましたことを心から感謝申し上げます。

当院は現在、地域の病院やクリニックとの間で緊密な連携を保つことによる、地域包括型の医療を目指しております。そのため順天堂大学附属順天堂医院、順天堂東京江東高齢者医療センター、がん研有明病院、三井記念病院などと医療連携の協定を結んでおります。また、多くのクリニックとも連携を密にしており、当院の患者待合室の案内テレビでは本年より当院と連携関係にあるクリニックを順次ご紹介をさせていただく予定であります。(下記の記事をご参照ください)。これらは全て患者さんを中心とした医療を行うためのものです。

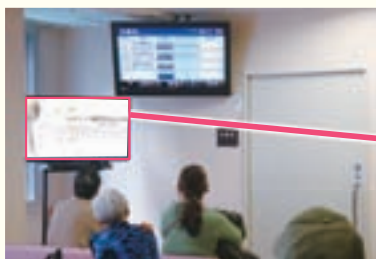
また、最近江東地区も高齢者が増加してきており、在宅医療の必要性が高まっております。当院では数年前から在宅訪問医療、在宅看護に力を注いでまいりましたが、この度、在宅医療専従医を新たに迎えました。今年には在宅医療・看護を再組織化して今まで以上に在宅医療、在宅看護のレベルアップを図りたいと考えております。

当院は今年も最高レベルの医療を患者さんに提供することを目指して努力してゆく所存ですので、昨年同様のご支持を宜しくお願い申し上げます。

待合室の情報モニターにご注目！

外来待合室に設置された情報モニターにお気づきですか？各診療科待合室に計7台設置されています。

情報モニターでは、医療関連の豆知識やタイムリーな話題、ニュース、リラックス情報などが週がわりで放映されています。内容は極めて多彩で、皆さんの待ち時間を有意義な時間に少しだけ変えてくれるツールとなるものと期待しています。さらにこのコンテンツはどんどん充実してきており、現在病院で放映されているデジタル情報の中でも最も充実しているものといえるでしょう。今後は当院常勤医のプロフィールや休診情報、病院情報、連携医療機関のご案内などさまざまなオリジナルコンテンツも放映していく予定でありますので、診察の際は是非ご注目下さい。



ヒポクラテスの木



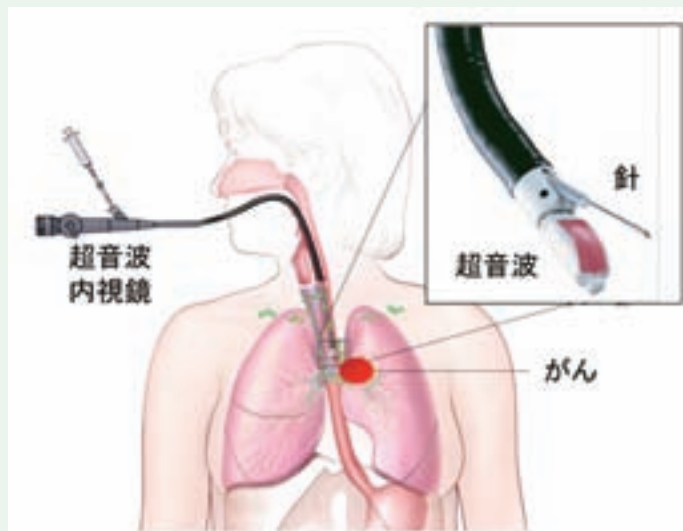
ヒポクラテスの木は、紀元前のギリシャの医聖、ヒポクラテスがこの木の原木の下で講義をした事に因んだものであり、世界中の病院に分木されています。葉がいちまいいちまい落ち、すうまい残っているだけとなりました。今は全て葉が落ち真冬の景色になりました。

診断に画期的な成果をもたらす超音波内視鏡とは？

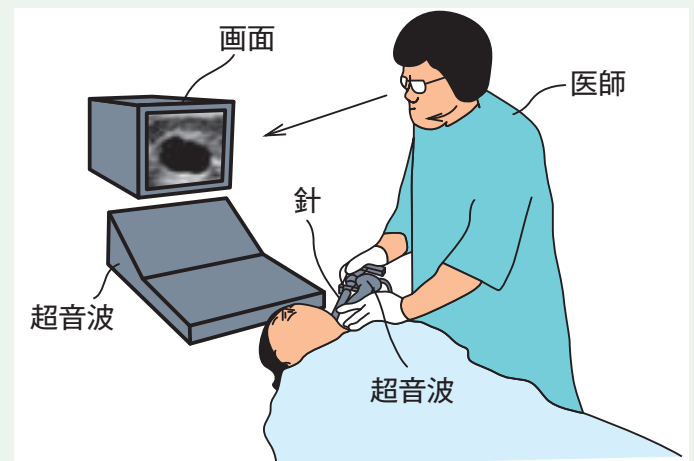
一般的に行われている超音波（エコー）検査は、超音波を体表から体に当てて行う検査で、少しヌルヌルしますが痛くも苦しくありません。また放射線をあびることもありません。そのため、心臓や肝臓、胆のう、すい臓などを始め、肺・甲状腺・乳房・子宮・前立腺など体のさまざまな臓器の検査に使用されています。この特性を生かして、超音波検査を利用しながら各臓器に外から針を刺して病変部分の細胞を採取したり、体の中にたまった水を抜いたりするなどの検査や治療が多く行われてきています。これは超音波下穿刺といって、とくに癌を診断する際には大変役に立ちます。当院では、甲状腺腫瘍、乳がん、肺がん、癌性胸膜炎、癌性心外膜炎の診断に良く利用されています。このような非常に有効な超音波にも苦手なところがあり、体内といっても体の表面からすぐ近くにある病変に対してのみ利用できる検査法でした。



【通常の超音波検査】体表から検査します。少しヌルヌルしますが、安全で苦しくありません。



【超音波内視鏡下穿刺】内視鏡を利用して、体の奥の方にある癌などの病変を穿刺して細胞を採取する事が出来る最新の技術。



【超音波下穿刺】体の表面から針をさして、病変部の細胞を採取する従来の方法です。

今回、当院ではその欠点を解消するため新型の超音波内視鏡装置を導入しました。この超音波内視鏡では、内視鏡の先端に超音波プローブ（超音波を感知する部分）が付いていて、内視鏡で観察を行いながら、体表から離れた部分にある病変に対して体の内部から超音波検査を行うことができる装置です。さらに、この超音波を使うことで、検査用の針を使って体の奥の方から細胞を採取することが可能になります。これは画期的なことで、体表面に近い部位からも体の奥の方からも超音波を使用して、安全かつ正確に細胞を採取して診断のための検査をすることが可能になります。その結果、いままで診断するのが難しい場所にできた肺癌が診断できるようになっただけでなく、悪性リンパ腫やサルコイドーシスも簡単に診断できるようになりました。今後は、体の中から超音波内視鏡を用い穿刺を行う機会がどんどん増えていくものと思われます。こうした新技術によって早期に診断が可能となり、それにより、より早く治療が開始できることとなります。(文責:臨床検査科部長 小幡 賢一)

イラスト病院紹介



病院に入って、正面にあるのが総合案内です。初診の方は必ず総合案内で保険証の確認をしていただいた上で診療科の選択、確認をしてもらってください。再診の患者さんも毎月初めての受診時は総合案内で保険証の確認をお願いします。

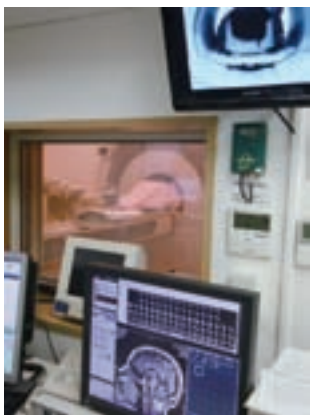
健診センターをご利用下さい -新しい健診・検査のご紹介-

当院の健診センターでは江東区の事業として行っている健康診査、大腸がん検診、眼科検診、乳がん、子宮頸がん検診を始め、一般の方のご希望による健診、人間ドック、脳ドック、企業の健康診断、雇入時の健康診断を行っています。

オプション検査として、下部内視鏡（大腸がん）、乳がん、子宮がん、頭部MRI、心臓超音波、胸部ヘリカルCT検査（肺がん）、ABC検診（胃がん）も行っています。

ABC 検診 胃がんの頻度（罹患率）は全てのがんの中で男性は1位、女性では2位となっています。従来より行われている、胃のX線検査や内視鏡検査は食事制限や苦痛などが少なからず伴うものでした。最近行われるようになったABC検診は血液検査による胃がんのスクリーニング法です。胃がんの発生に大きく関与していると考えられているヘリコバクター・ピロリ菌の感染とそれとともに胃粘膜の萎縮をペプシノゲン検査で行い、（右下図）胃がんになるリスクを調べる検査です。もちろん最終診断には内視鏡検査が必要ですが、スクリーニングとしては苦痛もなくなりたいへん有用です。

血中アミノ酸がんリスクスクリーニング (AICS法) 血液中には多数のアミノ酸が存在し、その濃度は正常ではそれぞれ一定範囲内に保たれています。しかし特定のがんなどの病気になるとバランスがくずれます。この性質を利用し、がんの可能性を判断するリスク検査がAICS法です。胃がん、肺がん、大腸がん、男性は前立腺がん、女性は子宮がん、卵巣がん、乳がんなどに適応があります。



脳検査中のMRI装置

脳ドック 従来から行われて来た人間ドックの項目に頭部MRI/MRA検査、血圧脈波検査を組み合わせ、脳外科医が判定、結果説明致します。この検査は頭、全身の健康状態を半日で検査し、結果説明まで受けることが出来るたいへん効率的な健診です。

少し前までは病気になってから治療することが病院の役割でしたが、今は健診で病気の危険性をあらかじめ予知し、食事、運動などでの生活習慣を改善したり、病気になる前に除菌や様々な方法で健康を維持していく時代となっています。健診を是非受診され、前向きな健康増進をお勧めします。



健診センターのメンバー



X線透視装置・胃の検査を行う設備です

ABC分類	ヘリコバクター・ピロリ菌抗体検査判定		
	10未満(-)	10以上(+)	
ペプシノゲン検査判定	(-)	A	B
	(1+) / (3+)	D	C

A群	健康的な胃粘膜で、胃癌の危険性は低いと考えられます。
B群	消化性潰瘍などに留意する必要があります。
C群	胃がんの高危険群と考えられます。
D群	胃がんの、より高危険群と考えられます。

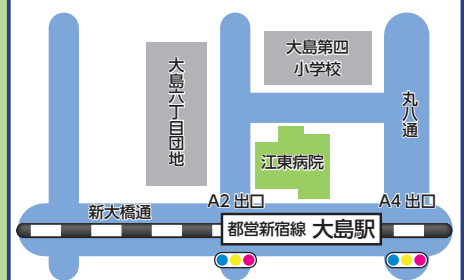
ABC 検診判断基準

診療科目 内科 循環器内科 消化器内科 呼吸器内科 腎・高血圧内科
糖尿病内科 膠原病・リウマチ内科 脳神経内科 小児科
外科 整形外科 脳神経外科 麻酔科 泌尿器科 眼科
耳鼻咽喉科 婦人科 皮膚科 美容皮膚科 メンタルクリニック
放射線科 血液浄化センター 外来化学療法室
リハビリテーション科 健診センター 睡眠時無呼吸 (SAS) センター

常勤職員数 医師：81名、薬剤師、技師：97名、看護師：274名、その他：92名

関連施設 東京綾瀬腎クリニック（電話：03-5680-6888）
介護老人保健施設「かがやきライフ江東」（電話：03-3640-2111）
認知症高齢者グループホーム「サンライズホーム」（電話：03-3640-2112）
訪問看護ステーション「たんぼぼ」（電話：03-5627-5820）

厚生施設 看護師寮
院内保育所「すくすくナーサリー」（平成26年12月）



- 都営新宿線大島下車（出口A2）1分
- 総武線亀戸駅より葛西橋行、東大島行、東陽町行バスで大島駅江東病院前下車
- 駐車場（患者さん料金）：4時間まで300円以降20分毎100円（透析患者さんは6時間まで300円以降20分毎に100円）

トピックス ア・ラ・カルト

江東健康フォーラム開催案内



日程	時間	セミナー名	講師
2月28日(土)	13時30分	脱腸のおはなし	新谷部長 (外科)
3月28日(土)	13時30分	在宅で安心した医療をうける為に	堀米医師 (在宅支援室)
4月25日(土)	13時30分	薬の飲み方あれこれ	山田薬剤師 (薬局)

当院では、医師や医療スタッフを講師とした無料セミナーを毎月1回（第3または第4）土曜に行っています。ぜひご参加ください。

場 所：本館 2 階北側待合室 会場の入場は 30 分前よりです。
定 員：50 名、直接会場にお越しください。
問合せ：医療連携室 電話：03-3685-2253
FAX：03-3685-2766

インフルエンザに注意

今年はインフルエンザの流行が例年より早く、しかも急速に拡大している傾向がみられます。予防接種を受けられていたとしても手洗い、うがいに留意し、体調管理に一層心がけて下さい。また、急激な発熱や、体調不良はインフルエンザの可能性があるので早めに受診されることをおすすめします。

当院では現在インフルエンザ特別診療体制をしております。受付の際には担当者に必ず「発熱がある」ことをお申し出て下さい。早めにインフルエンザの検査をさせていただきます。



薬剤アレルギーに関して

最近、さまざまなアレルギーが増えてきていることは皆さんご存知のことと思います。食物や花粉アレルギーのみでなく、薬剤アレルギーは診療に際して、当院では特に注意を払っております。



皆さんが各診療科を初診される際には、薬物アレルギーに関しての問診を行っております。抗生剤や抗炎症薬などのアレルギーをおこしやすい薬剤のみでなく、全ての薬剤のアレルギーに関しての問診を今後は更に厳重に行っていく予定ですので、ご協力をよろしくお願いいたします。



新任医師紹介 (10月~12月) 《氏名、診療科、抱負、趣味など》



ほりこめ えみこ 医師 在宅支援室
住み慣れたお住まいで過ごせる時間を大切にするお手伝いをしていきます。
趣味：旅行、猫と遊ぶ



いしほし たけし 医師 小児科
子供達と一緒に明るい雰囲気を感じ、日々診療を行っています。
趣味：音楽

退職医師 杉田和也 / 小児科

医療機関の連携

患者さんのご紹介、検査予約 (MRI, CT, X線、超音波)

江東病院 医療連携室
電話：(直通) 03-3685-2253
(FAX) 03-3685-2766
E-mail: renkei@koto-hospital.or.jp

健診、人間ドック、その他オプション検査の予約

直通電話 一般健診 03-3685-2281 江東区健診 03-3685-2238
平日・土曜 / 午前 8:30 ~ 12:00 平日 / 午後 12:00 ~ 16:00

診療受付時間

		午前	午後
初診受付	平日	8:00 ~ 11:00	11:35 ~ 15:00
	土曜日	8:00 ~ 11:00	休診
再来受付	平日	8:00 ~ 11:30	11:35 ~ 15:30
	土曜日	8:00 ~ 11:00	休診

休診日

日曜日・祝日・第2土曜日・年末年始

休日、時間外の救急は来院前にお電話ください

電話：03-3685-2166 (代表)